

学校再編についての保護者との意見交換の概要

期 日	平成 24 年 8 月 28 日 (火)	時 間	19 : 00 から 20 : 47 まで
場 所	北方中学校 コンピュータ室		
出席者 (学校関係者を含む。)	30 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、学校政策課長補佐、生涯学習課長補佐、学校政策課指導主事、 教育総務係長		
No.	質 問	回 答	
1	統合にあたって、中学校の専門的な指導が受けられなくなるという説明だったが、これは県教委のやり方の問題であって、生徒の数が減っているから統合しないといけない理由になるのか。	県教委の考えを代えることは容易ではない。市教委で予算措置して配置することは可能ではないかと思う。	
2	昨年度末に教職員が 3 人出られて、今年度 1 人しか配置されず、臨時の先生が学級担任をされている。なぜか。	県が定めている基準やさまざまな事情で県教委が配置している。	
3	統廃合の問題は中学校のみならず、小学校も考えているのか。	審議会への諮問にもありましたように中学校の複式化がでてきたのが一番の大きな理由である。今回、小学校は入っていない。	
4	何年後をめどに、何校を考えているのか。	審議会の答申を尊重しなければならない立場で教育委員会において協議を重ねているが、平成 24 年度中に基本的な方向性を決定し、少なくとも今年度を含めて 3 年にかかるのではないかと考えている。今後基本計画、実施計画を策定しなければならないのでそれなりの時間はかかる。現在、教育委員会では 6 校を何校にするということは決まっていない。	
5	素案を作成されたときに各学校、地区での話し合いの場は設けるのか。	素案ができた段階で説明会は開く考えである。それに対する意見などを伺い、最終的に作り上げることになる。	
6	子どもは自分の卒業した学校に通わせたいと思い現在通わせているが、統合したと仮定した場合に、卒業して働きだしたときに北方地区に戻ってき	子どもたちの将来を考えたときに、さまざまな思いを乗り越えて学校を創れたらいいと考えている。	

	てくれるのかが不安である。	
7	教職員の配置に関する基準については公開できるのか。教職員の配置について規則性がないとするならこれまでに情報公開して今回の協議に当たったのか。	教職員の配置のルールは国の法律に基づいて配置されている。年度によって変わるので公開されない部分である。学級編制の基準は公開されている。
8	通学に不便であると、一層日南の学校へとか、高校でも日南に行けばもっと選択肢が広がるとか、そういった考えは加速しないか。地域の過疎化が心配され不安である。	串間市内に一つしかない高校であるので、市長を長にして「福島高等学校を育てる市民の会」を立ち上げ、行政としても3つの支援策を打ち出した。中学校が再編されれば遠距離の生徒はスクールバスでの通学方法を検討しているが、高校生もスクールバスを利用して通学させることも福島高等学校を残す一つの手段として考えてもいいのではないかと考える。
9	前回とは違い、今回は学校再編を進めるという前提でいいのか。	これまでの経緯を受けて審議会において答申がなされており、教育委員会としてもしっかり受け止めて協議している段階である。

No.	意見等	
1	子どものことを第一に考えていただき、学校再編を進めていってもらいたい。	
2	学校再編には悲観的または希望的な賛同もあるかと思う。希望になるが、再編やむなしとなれば理想的なやり方があると思うので、その方向で検討してもらいたい。私たちも努力すべきところはあると思うので、その方向で進めていただきたい。	